

戰旗

6月14日

- / 共同志士 **墓前祭** (多摩聖園入口・吉野屋、六時)
- / 全関西総決起集会
（大昭和町明会堂、六時）
- / 高安聯会等 **高校生大政治集会**
（東地方連合会、二時）
- / 反戦野、市川 **全千葉反戦集会**
（反戦・美徳公民館、六時）
- / 日弁協紛争、日常訂立 **大政治集会**
（中経協事務所、八時半）

同日

[illegible][illegible][illegible]

中央權力 訪米阻止

[illegible][illegible][illegible]

A black and white photograph showing a large crowd of soldiers in helmets, viewed from behind, looking towards a distant structure. The soldiers are densely packed, and their helmets are prominent in the foreground. In the background, a large, dark, rectangular structure, possibly a building or a bridge, is visible against a light sky. The overall scene suggests a military operation or a large-scale gathering of troops.

6・6、大手前公園に千余の赤ヘル結

[illegible]

集會に七〇名

[illegible]

共産主義者同盟議長 さ ら ぎ 徳 二 著

第二篇 方法論
 批判理論のシシ 批判理論の発展
 第二篇 普遍本質論
 第一章「資本論」の原理的展開
 第二章「字野理論論」批判
 第三章「ベルヘーグと「資本論」評註
 第四章 帝國主義理論の原理
 一 帝國主義理論の原理
 第二篇 史的戰略基礎論
 第一章 マルクスの「異同時代革命」と「革命生命論」
 一 革命生命論
 第二章 過渡期世界と「異同時代革命」
 一 三つの時期と「資本論」
 第三章 過渡期世界と「世界プロレタリア革命」
 一 過渡期「T・ラッセル」式「革命生命論」
 第四篇 革命時戰略論序説
 プラキマ・マクハ・ヘーリフ・フット
 毛澤東論 10・8・10 21 東京
 A P 〇〇 年 800
 リベラシオン社

羽仁五郎 対談

現代とはなるか。大学革命ともよばれる学生運動の革命運動をどう理解すべきか。都市と内在于学生運動は、いかにか七〇安保を前に揺れ動く政治・社会情勢のいかに対応すべきか。また、近代との対比において現代をどう意味づけるか。これらの問題について羽仁五郎の解答は、学生・青年に現代学生運動にあるべき態度を説く。『現代の学生』という一書は、羽仁五郎と、武吉三男、花田輝輝、竹内好、吉井美太郎、針生、郎氏ら、各界のトップとの対談を中心とまとめたもので、「現代の学生」といふ一書は、学生必読の書である。学生必読の書。



● 想的条件 第三部 現代とはなに
か 近代と現代／八・一五に君は
なにをなすべきか／チエコ動乱と
社会主義の冒険／安保自動延長と
平和の危機／回顧と展望 一六〇年
から七〇年へ

● 最新版図書目録送呈、本社宣伝部へ保まで

朝鮮危機とアジア反帝統一戦線

一、朝鮮危機

朝鮮半島の危機は、世界平和の危機である。朝鮮半島の統一問題は、単なる地域問題ではなく、アジアの反帝統一戦線の問題である。日本は、朝鮮半島の統一を促進し、アジアの平和と安定に貢献する責任を負っている。日本は、朝鮮半島の統一を促進し、アジアの平和と安定に貢献する責任を負っている。日本は、朝鮮半島の統一を促進し、アジアの平和と安定に貢献する責任を負っている。

日帝の侵略の焦点——朝鮮危機と日朝プロレタリアの任務

ニアシアに於ける国際反帝統一戦線の当面する課題

共産主義者同盟国際部

日帝の侵略の焦点は、朝鮮半島である。日帝は、朝鮮半島の統一を促進し、アジアの平和と安定に貢献する責任を負っている。日本は、朝鮮半島の統一を促進し、アジアの平和と安定に貢献する責任を負っている。日本は、朝鮮半島の統一を促進し、アジアの平和と安定に貢献する責任を負っている。

獄中からの通信

荒谷介 (社説委員)

獄中からの通信は、日本の現状を伝える貴重な情報源である。荒谷介氏は、獄中から日本の現状を伝える貴重な情報源である。荒谷介氏は、獄中から日本の現状を伝える貴重な情報源である。

創刊号 発売中!!



10・21とはなにか

「10・21とはなにか」を出版する会
定価 二〇〇円 (税別)
発行所 共産主義青年同盟

世界革命と「過渡期階級闘争」に関する「林彪報告」批判

中共九全大会路線批判 (下)

渡辺 数馬

世界革命と「過渡期階級闘争」に関する「林彪報告」批判。この報告は、世界革命の道筋を誤り、過渡期階級闘争の重要性を軽視している。日本共産党は、この報告を批判し、正しい革命路線を追求する必要がある。日本共産党は、この報告を批判し、正しい革命路線を追求する必要がある。